

## 令和4年度 子ども大学そうか

## 1 実施体制

子ども大学そうか	学長	山路 朝彦（獨協大学学長）
	副学長	山本 好一郎（草加市教育委員会教育長）

## 2 事業内容

開催期間	令和4年7月16日～令和4年11月19日			
参加者数等	定員	40名	応募者数	131名
	参加者数	5年 18名		5年 72名
		6年 22名		6年 59名

## 3 実施内容

1日目	開催日時	7月16日（土） A班9：20～10：40 B班11：20～12：40 （入学式 10：45～11：15）	
	会場	獨協大学	
	講義名	「中国語で中華料理をオーダーしよう」	
はてな学	講師	獨協大学 国際教養学部 言語文化学科 専任講師 明田川 聡士 先生	中国語や気になったこと について先生に質問をしました
2日目	開催日時	8月9日（火） 10：00～11：30	
	会場	高砂コミュニティセンター	
	講義名	「喜んでもらえるアイスクリーム ってどんなもの？～働くことを考 えてみよう～」	
生き方学	講師	ハーゲンダッツジャパン株式会社	グループで考えた新商品を 発表しました
3日目	開催日時	9月3日（土） 10：30～12：00	
	会場	高砂コミュニティセンター	
	講義名	「ブレッドボードを使った電子工 作」	
はてな学	講師	東京電機大学 工学部 非常勤講師 定松 宣義 先生	細かい部品を使って電子回路の 製作をしました

別紙様式

4日目	開催日時	10月15日(土) 10:00~11:30	<p>世界情勢や国際社会の仕組み等について学びました</p>
はてな学	会場	獨協大学	
	講義名	「戦争はなくせるの？」	
	講師	獨協大学 副学長 (法学部 国際関係法学科 教授) 岡垣 知子 先生	
5日目	開催日時	11月19日(土) 10:00~11:30 (修了式 11:45~12:00)	<p>手話で挨拶や感情等を表す方法を学びました</p>
生き方学	会場	高砂コミュニティセンター	
	講義名	「手話で伝える言葉の魅力」	
	講師	草加市聴覚障害者協会・ 草加市手話通訳問題研究会 「手話友の会」	

4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・パンフレットにマスク着用や検温、手指消毒等、感染拡大予防についての注意事項を記載し、当日も受付において検温、手指消毒を行った。
- ・ソーシャルディスタンスを考慮し、席と席の間隔をあけるようにした。

5 参加者の声

<p>参加した子供の声（感想）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の中で、中国語とは、あまりかかわりが無い物だと思ってしまっていたんですが、今日の授業を受けて中国語に対する思いがかわり、すごくきょうみをもちました。今日教わったこと以外も調べて、自分なりに勉強したいです。（1日目）</li> <li>・中まで赤いいちごをさがすのに、たくさんの時間がかかったこと、クリスピーサンドのせい作には7年かかったことなど様々な話がきけて楽しかったです。それから、グループのみんなと協力してアイデアを発表できたのも良かったです。（2日目）</li> <li>・回路を実際につくるのは難しかったけれどランプがついたとき達成感があって楽しかったです。残りの部品を使って家でもつくってみたいです。（3日目）</li> <li>・戦争についてあまり知らない状態でこの講義をうけて知らなかったこと初めて知ることがたくさんありました。みんなでなぜ戦争はおこるのか話し合ったりとても良い経験になりました。（4日目）</li> <li>・声は聞こえなくても、顔や手の動きで分かるのはとてもすごい事だなあと思いました。「ありがとう」という手話は、顔を笑顔にすることでもっとありがとうという気持ちがわかるなと思いました。（5日目）</li> </ul>
---------------------	--

別紙様式

保護者の声  
(感想)

- ・ 毎回違う先生方と沢山の勉強、取り組みして、この先少しでも本人にとっていい経験になってくれたと信じてたくさんの経験をありがとうございました。
- ・ 引っ込み思案の子ですが、がんばって知らない子達と活動していました。
- ・ 毎回知らない事を学ぶことができ楽しそうです。「大学ってこんな所なんだ」と雰囲気を感じていました。
- ・ 今後も続けて開催していただきたいです。今度は今3年生の弟が参加したいと楽しみにしております。
- ・ 毎回楽しみにしていました。帰ってきてその日やった事、初めて知った事など教えてくれました。